

降誕前節第7主日（緑）  
主日礼拝

2025年11月9日 10時20分～

司式：  
奏楽：

「星を数えてみなさい」

《神の招き》

|     |   |                         |
|-----|---|-------------------------|
| 前   | 奏 | 『天にまします我らの父よ』 J. S. バッハ |
| 招   | 詞 | 創世記26章4節                |
| 賛美歌 |   | 4 5 1                   |

《神の言葉》

|   |   |                         |
|---|---|-------------------------|
| 祈 | 祷 | 聖霊の照らしを求める祈り            |
| 聖 | 書 | 創世記15章1～18節a (旧約 18頁)   |
|   |   | ヤコブの手紙2章14～26節 (新約413頁) |

|       |             |        |
|-------|-------------|--------|
| 子ども説教 |             |        |
| 交読詩編  | 詩編105編1～15節 | (123頁) |
| 賛美歌   | 4 6 3       |        |
| 説教    | 「星を数えてみなさい」 | 八木浩史牧師 |
| 祈     | 祷           |        |
| 賛美歌   | 1 8 4       |        |

《感謝の応答》

|      |                 |      |
|------|-----------------|------|
| 信仰告白 | 使徒信条            |      |
| 祝福式  | 5 4 4           |      |
| 献金   |                 |      |
| 祈    | 祷               | 献金当番 |
| 主の祈り | (週報表紙、ホームページ掲載) |      |

《派遣》

|   |   |     |
|---|---|-----|
| 頌 | 栄 | 2 7 |
| 祝 | 福 |     |
| 報 | 告 |     |
| 後 | 奏 |     |

『創世記』では、アブラム(アブラハム)に神からの祝福の言葉が臨みます。しかしこれは初めてのことでありませんでした。ハランにいた時に「大いなる国民とし、祝福」するとの御言葉があり、当時75歳であったアブラムは神に示された土地カナンへと旅立ちました。妻サライとの間に子が無かったアブラムにとって、祝福とは何よりも子が与えられることでした。カナンにおいてロトと別れた時にも、「子孫を地の塵のように多くする」との御言葉がありました。さらに年を重ねていたアブラムは、もう肉体的には子を得る可能性は絶望的になっていたのです。またしても神はアブラムを祝福されると言われるのですが、アブラムは神からの祝福を信じることができなくなりつつあったので、「私には子どもがいません。家の跡継ぎはダマスコのエリエゼルです」と答えるのです。アブラムは自分の悩む気持ちを神に訴えています。私たちも悩みがある時には、神に訴え、「なぜですか」と問えば良いのです。そのような祈りにおいて、神との対話により私たちの信仰が深められます。

主なる神はアブラムを外に連れ出し、夜空を見させました。数え切れない星が見えました。「あなたの子孫はこのようになる」とのこと。神のスケールは、人のスケールを超越しているのだと悟り、「アブラムは主を信じた」のです。アブラムの子孫の中から、主イエス・キリストがお生まれになりました。キリストを信じる者が世界中に星の数ほど与えられています。私たちもキリストによって、アブラムの子孫であり、神の祝福を受け継いでいる神の民なのです。

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 礼拝当番： | (役員：) | 献金当番： |
| 音響：   |       | 映像：   |